第５回気象サイエンスカフェつくば

気候変動と大気・海洋振動が世界の穀物生産に及ぼす影響の予測に挑む

3月6日（火） 18:30 ～20:30（18:15開場）

場所： BiViつくば２階 交流サロン（「つくば駅」A3出口すぐ）
（飲み物は各自ご用意ください）

登録不要
参加費無料

スピーカー
飯泉 仁之直
（いいずみとしちか）

農研機構
農業環境変動研究センター
気候変動対応研究領域
主任研究員

農業生産は天候の影響を強く受けます。
数十年スケールでの気候変動と数週間スケールの異常天候のどちらにも警戒が必要です。日本では、例えば、ダイズの93%、コムギの85%を海外から輸入しており、米国やカナダ、オーストラリア、ブラジルといった主要生産国の異常天候と無関係ではありません。
今回の気象サイエンスカフェでは、エルニーニョ現象のような大気・海洋振動や将来の気候変動が世界の主要穀物の生産に及ぼす影響と適応を中心にお話しします。

司会：川瀬 宏明（気象予報士）

主催：日本気象学会 教育と普及委員会、日本気象予報士会
問い合わせ先：msj-ed_2017@metsoc.jp

第５回気象サイエンスカフェつくば

気候変動と大気・海洋振動が世界の穀物生産に及ぼす影響の予測に挑む

3月6日（火） 18:30～20:30（18:15開場）

場所： BiViつくば２階 交流サロン（「つくば駅」A3出口すぐ）
（飲み物は各自ご用意ください）

登録不要
参加費無料

スピーカー
飯泉 仁之直
（いいずみとしちか）

農研機構
農業環境変動研究センター
気候変動対応研究領域
主任研究員

農業生産は天候の影響を強く受けます。
数十年スケールでの気候変動と数週間スケールの異常天候のどちらにも警戒が必要です。日本では、例えば、ダイズの93%、コムギの85%を海外から輸入しており、米国やカナダ、オーストラリア、ブラジルといった主要生産国の異常天候と無関係ではありません。
今回の気象サイエンスカフェでは、エルニーニョ現象のような大気・海洋振動や将来の気候変動が世界の主要穀物の生産に及ぼす影響と適応を中心にお話しします。

主催：日本気象学会 教育と普及委員会、一般財団法人日本気象予報士会
問い合わせ先：msj-ed_2017@metsoc.jp（気象研究所 川瀬）

第５回気象サイエンスカフェつくば

気候変動と大気・海洋振動が世界の穀物生産に及ぼす影響の予測に挑む

3月6日（火） 18:30～20:30（18:15開場）

場所： BiViつくば２階 交流サロン（「つくば駅」A3出口すぐ）
（飲み物は各自ご用意ください）

登録不要
参加費無料

スピーカー：飯泉 仁之直（いいずみとしちか）
農研機構　農業環境変動研究センター
気候変動対応研究領域
主任研究員

農業生産は天候の影響を強く受けます。数十年スケールでの気候変動と数週間スケールの異常天候のどちらにも警戒が必要です。日本では、例えば、ダイズの93%、コムギの85%を海外から輸入しており、米国やカナダ、オーストラリア、ブラジルといった主要生産国の異常天候と無関係ではありません。
今回の「気象サイエンスカフェ」では、エルニーニョ現象のような大気・海洋振動や将来の気候変動が世界の主要穀物の生産に及ぼす影響と適応を中心にお話しします。

問い合わせ先：msj-ed_2017@metsoc.jp（気象研究所 川瀬）

主催：日本気象学会 教育と普及委員会、一般財団法人日本気象予報士会